

科目名	スポーツⅣ	単位数	1	必修選択	全員 (2・3年連続)
教科書					
副教材	アクティブスポーツ (大修館書店)				

教科・科目の内容

(1) 創造型ダンスの理解と実践

(2) 伝承型ダンスの理解と実践

創造型ダンス（創作ダンス、現代的なリズムのダンス）と伝承的ダンス（フォークダンス）を学習します。昨年までに学習したことを元に、グループでテーマを決めて自由に創作活動を行います。この創作ダンスは、大作品を創り発表会を行います。仲間と協力し1つの作品を作り上げることで、協調性やお互いを尊重し認め合うことの大切さを学習します。また、フォークダンスについて学びます。踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができるようにします。踊りが生まれて伝承されてきた地域や風土などの背景や情景についても学習します。

日常生活や将来とのつながり

ダンスは仲間と交流し、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができます。動きの構成や組み立て方を理解することや、仲間を尊重し相手に配慮したり互いに共感し高め合ったり、役割を決め自己の責任を果たすことは、日常生活で必要な能力です。また技能と体力の関連を踏まえ、ダンスの高度な技能を身に付けるためには、柔軟性や巧みな動きを高めるなどの体力トレーニングも必要とされ、他のスポーツにもプラスとなります。さらにエアロビクスはリズムカルな全身運動であり、有酸素運動です。近頃では生涯を通して健康の保持増進のために、地域のスポーツクラブ等で取り組む人も多く見られるようになりました。授業で理論や方法等を知ることによって、健康の保持増進のための1つの手段を体験することになりますので、積極的に取り組みましょう。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

○創作ダンスでは、グループに分かれ、表現したいイメージやテーマを全身の動きで自由に創作活動を行います。文字や言葉ではなく、全身を使って表現することの楽しさや、仲間と交流する喜びを実感できるように、お互いに協力して意見を出し合い、自由な発想で1つの作品を作り上げましょう。

○伝承型ダンス（フォークダンス）では、それぞれの地域や風土の背景、歴史を考えながら活動します。全身を使って特徴的なステップに含まれる意味等を考えながら仲間と交流する喜びを味わいましょう。

到達目標

ダンスの専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができる資質や能力を育てる。

評価方法

①関心・意欲・態度（行動観察・ノート点検）

- ・互いに助け合い高め合おうとしている。

②思考・判断（行動観察・ノート点検）

- ・課題解決の過程を踏まえて、取り組んできたグループや自己課題を見直している。

- ・ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。

③運動の技能（行動観察・他者評価）

- ・対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊るための動きができる。

- ・ステップやリズムの特徴を強調して、音楽に合わせて仲間と対応して踊るための動きができる。

④知識・理解（ノート点検、プリント）

- ・発表の仕方について学習し発表会を実行することができる。鑑賞の仕方について、学習した具体例を挙げるができる。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2 年	スポーツⅣ	1		アクティブスポーツ(大修館書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	創造型ダンス 現代的なリズムのダンス 1 エアロビクス	リズム感の体得、また音に合わせて体を動かすことの楽しさを実感し、積極的に取り組むことができる。 ・ダンスの楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで取り組むことができる。 ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 ・ダンスの用語について、学習した具体例を挙げることができる。	○	○	○	○
	伝承型ダンス フォークダンス	伝承された踊りを身に付けて仲間と踊って楽しむことができる。 日本の民謡や様々な国のフォークダンスから踊りを選び特徴にふさわしく踊ることができるようにする。 ・パートナーに対するマナーを大切に、誰とでも交流して楽しむことができる。 ・仲間との交流や発表の場面で、健康・安全を確保・保持するために自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選ぶことができる。 ・踊り方の特徴を強調して、音楽にあわせて多様なステップや動きと組み合わせで仲間と対応して踊るための動きができる。 ・文化的背景について具体例を挙げることができる。	○	○	○	○
二学期	創造型ダンス 現代的なリズムのダンス 2	リズム感の体得、また音に合わせて体を動かすことの楽しさを実感し、積極的に取り組むことができる。 ・ダンスの学習に自主的に取り組むことができる。 ・仲間と関わり合って踊ることができる。 ・踊りたいリズムや音楽の特徴を捉えて踊ることができる。 ・ダンスの用語について、学習した具体例を挙げることができる。	○	○	○	○
	創造型ダンス 創作ダンス	変化と起伏のある「はじめ～なか～おわり」のひとまとまりの動きで表現する。 ・互いに助け合い教え合おうとしている。 ・ダンスを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けることができる。 ・個や群で緩急強弱を付けて踊ることができる。 ・踊りの特徴と表現の仕方について学習した具体例を挙げることができる。	○	○	○	○
三学期	現代的なリズムのダンス 小作品発表会	簡単なまとまりを付けて発表し見せ合う。 リズム感の体得、また音に合わせて体を動かすことの楽しさを実感し、積極的に取り組むことができる。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・発表をとおして互いの違いや良さを指摘することができる。 ・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりすることができる。	○	○	○	○

備考	
----	--